

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成30年2月15日 (2018.2.15)

【公開番号】特開2017-204241 (P2017-204241A)

【公開日】平成29年11月16日 (2017.11.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-044

【出願番号】特願2016-97386 (P2016-97386)

【国際特許分類】

G 0 6 F 17/30 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 7/90 (2017.01)

【 F I 】

G 0 6 F 17/30 2 2 0 C

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 T 1/00 5 1 0

G 0 6 T 7/00 1 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年12月19日 (2017.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 2 5 】

ステップ S 2 0 5 では、作成部 1 0 4 2 は選択カメラを動作させて、カラーチャートが印刷されたシートを撮像させて、選択カメラによるシートの撮像画像を取得する。選択カメラが撮像するシートの一例を図 3 (a) に示す。シートには、分光反射率分布が既知である色のパッチが配置されており、同列に配置されるパッチは同じ色名に対応している。例えば、左端の列のパッチは例えば明度および / または彩度が異なるが何れも色名「黒」に対応付けられているため、左端のパッチ列の直上には文字列「黒」が印刷されている。なお、色名を表す文字列の印刷位置はパッチ列の直上に限らない。また、文字列の代わりに、他のオブジェクトを用いても良く、その場合、該オブジェクトと色名との関係が既知である必要がある。図 3 (a) では、色名は以下の文献で示されているような 1 1 色 (黒、青、茶、灰、緑、オレンジ、ピンク、紫、赤、白、黄) に分類されるとする。